

# 「土曜日を活用した教育の在り方」に関する調査

京都府教育委員会

社会全体で子どもに生きる力をはぐくむことを目指した学校週5日制が実施され、今年度で10年目を迎えます。

京都府教育委員会においても「社会総がかりで取り組む教育」、「京都の力を活かした教育」などの視点から取組を推進していますが、この間、教職員の長時間勤務が指摘される一方で、新学習指導要領の導入により授業時数が増加するなど、子どもたちを取りまく教育環境は大きく変化してきています。

そこで、京都府教育委員会では、様々な法制度上の制約もありますが、子どもや教職員の「土曜日」の現状を把握した上で、子どもたちへの教育を更に充実させるため、「土曜日」を活用した教育の在り方について検討していきたいと考えておりますので、次の調査にお答えいただきますよう、御協力をお願いします。

次の項目について、回答欄に該当する数字を記入してください。

I 職種	1 管理職員	2 教育職員	3 1、2に該当しない職員
II 現在の勤務校においての、平均的な土曜日の出勤状況を回答してください。	1 ほぼ毎週出勤している	3 月1回程度出勤している	2 隔週程度出勤している 4 ほとんど出勤していない
III 上記IIで1から3までを回答された場合、主に該当する勤務内容を回答してください。(2つ以内)	1 補習等学習活動	2 部活動(小学校においては類似活動)	3 教材研究や事務作業等 4 地域と連携した取組 5 その他
IV 今後の「土曜日を活用した教育の在り方」について、どのような取組を充実していけばよいと考えますか。主に該当するものを回答してください。(2つ以内) 8「その他」を回答される場合は、回答欄に内容を簡潔に記入してください。	1 特に充実させる必要はない	2 ボランティアや地域が主催する体験活動等の充実	3 地域と学校が連携した取組の充実 4 部活動の取組充実 5 学校での補習実施や自習できる環境の充実 6 学校での授業実施(毎週から月1回程度まで) 7 保護者が子どもと一緒に過ごせる環境の整備 8 その他
V 子どもたちへの教育効果の面で土曜日に授業を実施する必要性について、あなたの考えに近いものを回答してください。	1 必要性を強く感じる	2 必要性をある程度感じる	3 必要性をあまり感じない 4 必要性を感じない
VI 勤務時間を増やさないことを前提として、仮に土曜日の午前に登校日を設定した場合の勤務面に関して、あなたの考えに近いものを回答してください。	1 長期休業日に休みをまとめて取りできればよい	2 平日の過密感が解消されればよい	3 負担が増えるだけである 4 特にない

回答欄	学校種別	I	II	III	IV	V	VI
				⋮	⋮		
IV8「その他」							

回答後、勤務校内の回収ボックス等に入れてください。